

科目ナンバー： BA1064

授業コード： 2210100600

講義科目名称： 宗教学

英文科目名称： Religious Studies

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎坂井祐円			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎坂井 祐円 【所属】 【研究室】 【本学の科目区分】 教養科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎
------	--

到達目標	1. 宗教・科学・文化の異なる視点から死生観を整理し、それぞれの共通点と相違点を客観的に説明できる。 2. 祈りや供養が持つ心理的・社会的意義を理解し、それらが対人援助における「ケアの関係性」にどのように寄与するかを論述できる。 3. フィールドワークや修行体験を通じて得た実感を踏まえ、概念としての死生観を身体的な感覚として捉え直し、言語化できる。 4. 生まれ変わり研究や怪談・幽霊譚などの事例を分析し、日本文化における死者とのつながりの意味を学術的に解説できる。 5. 自身の死生観を明確な言葉で表現し、他者との対話を通じて、多様な価値観を尊重し合う姿勢を提示できる。
------	--

授業概要	宗教・科学・文化・体験の視点から現代の死生観を考える授業である。サブカルチャー、脳科学、量子論、死後意識存続研究、祈りや供養、生まれ変わり研究、怪談・幽霊譚など多様な素材を扱い、死といのちをめぐる人間の根源的な問いを探究する。フィールドワークや修行体験を通じて宗教的身体性を体感し、死生観がケアの関係性とどのようにつながるかを考える。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学修課題：現代社会と死生観 学修内容：・サブカルチャーを中心に、現代人の死生観を考察・「推し活」と宗教 ・異世界転生ブームの社会心理分析～生き直し願望の背景を探る 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 2 授業内容 授業形態：対面 学修課題：現代社会と死生観 学修内容：・サブカルチャーを中心に、現代人の死生観を考察・「推し活」と宗教 ・異世界転生ブームの社会心理分析～生き直し願望の背景を探る 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 3 授業内容 授業形態：対面 学修課題：宗教と科学の対話 学修内容：・脳科学と意識存続研究の最前線 ・量子論から考える靈魂観 ・死後の世界は実在するか ・ホログラフィック宇宙論と多世界解釈 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
------	---

4	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：宗教と科学の対話 学修内容： ・脳科学と意識存続研究の最前線 ・量子論から考える霊魂観 ・死後の世界は実在するか ・ホログラフィック宇宙論と多世界解釈 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
5	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：ナラティブと供養 学修内容： ・死別体験を物語化するワーク ・祈りの事例研究から悲嘆と供養の意味を学ぶ ・葬儀や追悼の意義を体感する 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
6	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：ナラティブと供養 学修内容： ・死別体験を物語化するワーク ・祈りの事例研究から悲嘆と供養の意味を学ぶ ・葬儀や追悼の意義を体感する 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
7	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：フィールドワーク（宗教スポット巡礼） 学修内容： ・上越市内の神社仏閣を参拝（十善寺の胎内めぐりを予定） 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
8	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：フィールドワーク（宗教スポット巡礼） 学修内容： ・上越市内の神社仏閣を参拝（十善寺の胎内めぐりを予定） 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
9	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：ワークショップ生まれ変わりをどう考えるか 学修内容： ・生まれ変わり現象の研究を概観した上で、日本人の死生観との相違をディスカッションする 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
10	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：ワークショップ生まれ変わりをどう考えるか 学修内容： ・生まれ変わり現象の研究を概観した上で、日本人の死生観との相違をディスカッションする 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること
11	(各1時間) 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：怪談と心霊の現象学 学修内容： ・怪談を「死者との関わり」を通したグリーフケアとして分析。心霊体験の文化的意味を考える。 ・被災地の幽霊譚から、共同体の記憶と供養の意味を学ぶ。 事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間）

	12	事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：怪談と心霊の現象学 学修内容：・怪談を「死者との関わり」を通したグリーフケアとして分析。心霊体験の文化的意味を考える。 ・被災地の幽霊譚から、共同体の記憶と供養の意味を学ぶ。
	13	事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：臨生ワーク宗教儀礼の身体性 学修内容：・死者への祈りを体験。実際に瞑想や呼吸法、読経の体験ワークを通して体感する。
	14	事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：臨生ワーク宗教儀礼の身体性 学修内容：・死者への祈りを体験。実際に瞑想や呼吸法、読経の体験ワークを通して体感する。
	15	事前学修：各回の前に参考文献や論文を紹介するので、事前に読んでおくこと（各1時間） 事後学修：各回の資料等やディスカッションに基づいて、内容を整理し、自分の考えをまとめること（各1時間） 備考： 授業内容 授業形態：対面 学修課題：まとめ 学修内容：・講義での体験を振り返り、自身の「死生観ノート」の作成する
評価方法、評価基準		到達目標に対して、以下の割合で評価する。 ディスカッション80%：各講義に必ずディスカッションの時間を設ける。 試験20%：目標達成度を評価する筆記試験を行う。
必携図書		坂井祐円（2018）『お坊さんでスクールカウンセラー』法蔵館 坂井祐円編（2022）：『仏教は心の悩みにどう答えるのか』晃洋書房
参考図書・資料等		他は講義の中で随時紹介・提示
受講、課題、資料配布等のルール		毎回、講義資料を配付する。欠席回の資料については申し出て受領すること。講義に参加し、ディスカッションを重視する。
教員からのメッセージ		宗教学の枠をこえて、死といのちを多角的に学ぶ授業です。サブカルチャー、科学、祈り、宗教スポット巡礼、修行体験など多様な素材を通して、「死を語ることで生を深く理解する」ことを目指します。看護の現場では避けられない死別や悲嘆と向き合うための、静かな力を育む時間になればと願っています。
オフィスアワー		－